

令和 6 年度産学公連携共同研究開発事業補助金 事業報告書（ダイジェスト版）

プロジェクト名	「軽度失語症に対する治療アプリの研究開発」
代表者	京都光華女子大学福祉リハビリテーション学科言語聴覚専攻 講師 大橋良浩
連携先	Ghoonuts 株式会社
実施期間	令和 6 年 5 月 1 日～令和 7 年 1 月 31 日
事業の背景・目的	失語症は脳卒中の約 30%に生じる言語機能の障害であり、近年はアプリを用いたトレーニングが注目されている。しかし、既存技術は重度～中等度の失語症を対象としており、軽度失語症に有効なアプリは無い。本事業では、軽度失語症における文法機能回復を目的としたトレーニングアプリの研究開発を行った。
事業内容	タブレットを用いた軽度失語症者向けの治療アプリ開発
事業の成果	<p>文レベルを中心とする課題を作成し、タブレット上での操作・正誤判定を可能にしたアプリを作成した。</p> <p>2025 年 1 月に京都市地域リハビリテーション推進センターにて有用性検証を行った。実施後のアンケートにて「楽しい」「続けたい」という一定の評価を得たが、「内容をもう少し複雑にして欲しい」「画面の一時的なフリーズが気になる」など、「当事者の言語能力と課題の難易度の乖離」「技術的な解決」の課題が生じた。この課題を解決することにより、より幅広い失語症者において有用となる可能性が考えられる。</p>
今後の課題・展望	<p>今回、有用性に向けた課題は、症状が軽度な当事者には容易な内容の問題が多かったため、難易度をより上げることである。アプリ開発の技術的な実現度との整合性を確認しながらさらにブラッシュアップを目指す。</p> <p>2025 年 3 月末付近に有用性検証を行い、その後、約三か月の有効性検証を行った後、現在リリース中の中等度～重度向けアプリの追加機能としてリリースする予定である。</p>